

## 平成 21 年度環境プログラム無償資金協力

### 「森林保全計画」(浚渫船コンポーネント)引渡式

2016 年 4 月 21 日



西岡大使がムサカ天然資源・エネルギー・鉱業大臣に鍵を渡す様子

2016 年 4 月 21 日、平成 21 年度対マラウイ環境プログラム無償「森林保全計画」にて建造された浚渫船の引渡式がヌクラ発電所にて行われました。同式典にはムサカ天然資源・エネルギー・鉱業大臣やマタンガ・マラウイ電力供給公社(ESCOM)理事長が臨席しました。

当国では家庭用燃料のための森林伐採が深刻な問題となっており、こうした問題を食い止めるために森林保全活動や電力へのアクセスの向上を目指しています。日本政府は 17 億円の無償資金協力で、森林保全活動に活用する車両等の機材供与、地方電化のための送電線の供与に加え、ヌクラ発電所の発電能力の改善を図るために浚渫船の建造及び浚渫に係る機材の供与等を実施しました。浚渫船コンポーネントには 4 億 5,000 万円を拠出しました。

ムサカ天然資源・エネルギー・鉱業大臣は、日本政府による本事業の実施及びテザニ水力発電の拡張の無償資金協力にも謝意を表明しました。マタンガ・マラウイ電力供給公社理事長は、貯水池の沈泥堆積により発電能力の低下の課題に直面しており、日本の時宜を得た支援に感謝の意を示しました。



浚渫した土砂を船からトラックへ運ぶ掘削機



ヌクラ発電所の貯水池に建造された浚渫船



浚渫した土砂を運ぶトラック